事務事業名	収入票の計算・日計表との照合事務				担当	会計管理者 会計課 出納係	
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり			増補版施策名		
施策名	1	市民本位の窓口サービスの向上			☐ 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ	
法令根拠						☐ 単年度繰返（開始年度 S29 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	4. 会計管理費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	指定金融機関、収納代理機関、会計課窓口に納められた納付書を指定金融機関が一括整理し、出納日計表とともに翌日に会計課へ提出する。提出された納付書を会計別、項目別に分類集計する。その集計別に収入票を作成し、出納日計表と照合する。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 31年度実績 指定金融機関からの納付書を会計別、項目別に分類集計する。集計別に収入票を作成し、出納日計表と照合する。（真岡市出納額報告書） 2年度計画 元年度と同様	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	納付された納付書の項目別納付書数	枚	252,815	249,589	249,345	223,509	223,000
	イ	収入表の作成数	枚	4,554	4,662	4,824	4,374	4,300
	ウ							
エ								
オ								
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 収められた納付書	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	収められた納付書数	枚	252,815	249,589	249,345	223,509	223,000
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 収入状況を把握する	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	収入状況が把握できた割合	%	100	100	100	100	100
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 正確な歳入管理	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	歳入が正確に管理された割合	%	100	100	100	100	100
	イ							
	ウ							
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	480	560	550	520	500
		人件費計(B)	千円	1,993	2,324	2,293	2,102	2,022
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,993	2,324	2,293	2,102	2,022	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	1日に納付された収入を照合するため
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	